



平成 17 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルガレージ
 代表者名 代表取締役 CEO 林 郁
 (J A S D A Q ・ コード 4 8 1 9)
 (URL <http://www.garage.co.jp/>)
 問い合わせ先 取締役 経営管理本部長
 櫻 井 光 太
 T E L 0 3 - 5 4 6 5 - 7 7 4 7

平成 17 年 6 月期 中間決算短信(連結)および 個別中間財務諸表の概要の訂正に関するお知らせ

平成 17 年 2 月 24 日付けで発表いたしました「平成 17 年 6 月期 中間決算短信(連結)」および「平成 17 年 6 月期 個別中間財務諸表の概要」の記載内容について、訂正すべき箇所がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線____で表示いたしております。

記

1. 平成 17 年 6 月期 中間決算短信(連結)

① 9 頁

2. 財政状態

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

訂正前	訂正後
これは主に連結子会社㈱イーコンテキストおよび㈱DGモバイルの第三者割当増資に伴う少数株主からの払込みによる収入 245 百万円、 <u>有価証券の貸付に伴う預り金の収入等 1,438 百万円</u> がありましたが、前連結会計年度において発行した転換社債型新株予約権付社債を 50%買入消却したことに伴う支出 1,594 百万円によるものであります。	これは主に連結子会社㈱イーコンテキストおよび㈱DGモバイルの第三者割当増資に伴う少数株主からの払込みによる収入 245 百万円、 <u>有価証券の貸付に伴う預り金の収入 1,632 百万円</u> がありましたが、前連結会計年度において発行した転換社債型新株予約権付社債を 50%買入消却したことに伴う支出 1,594 百万円によるものであります。

② 13 頁

(3) 中間連結剰余金計算書

項目	訂正前	訂正後
	当中間連結会計期間	当中間連結会計期間
IV 利益剰余金中間期末 (期末)残高	△369,963	△363,963

③ 15 頁

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

項目	訂正前	訂正後
	当中間連結会計期間	当中間連結会計期間
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
10. 投資有価証券の売却による収入	357,394	323,394
11. 関係会社株式の売却による収入	199,950	233,950

④ 19 頁

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	訂正前	訂正後
5 中間連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	当中間連結会計期間 同左	当中間連結会計期間 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、現金、普通預金及び当座預金並びに取得の日から3ヶ月以内に満期日の到来する定期預金からなっております。

⑤ 25 頁

注記事項

(デリバティブ取引関係)

訂正前				
当中間連結会計期間末(平成16年12月31日現在)				
デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況				
対象物の種類	取引の種類	契約金額 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
金利	スワップ取引	250,000	△13,543	△13,543
	キャップ取引	450,000	1,499	1,499
合計		650,000	△12,044	△12,044
※1 時価の算定方法 取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しています。				
※2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。				

訂正後				
当中間連結会計期間末(平成16年12月31日現在)				
デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況				
対象物の種類	取引の種類	契約額等 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
金利	スワップ取引	250,000	△13,543	△13,543
	キャップ取引	450,000 (16,890)	1,499	△15,390
合計		700,000	△12,044	△28,933
※1 時価の算定方法 取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しています。				
※2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。				
※3 ()内の金額はキャップ取引に係るオプション料(キャップフィー)であります。				

⑥ 30 頁
(1株当たり情報)

訂正前			
※ 1株当たり中間(当期)純利益および中間純損失ならびに潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。			
	前中間連結会計期間 自 平成15年7月1日 至 平成15年12月31日	当中間連結会計期間 自 平成16年7月1日 至 平成16年12月31日	前連結会計年度 自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日
(省略)			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 203株	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成16年9月28日の定時株主総会決議 855株	—

訂正後			
※ 1株当たり中間(当期)純利益および中間純損失ならびに潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。			
	前中間連結会計期間 自 平成15年7月1日 至 平成15年12月31日	当中間連結会計期間 自 平成16年7月1日 至 平成16年12月31日	前連結会計年度 自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日
(省略)			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 203株	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 110株	—

2. 平成17年6月期 個別中間財務諸表の概要

① 44 頁
(1株当たり情報)

訂正前			
※ 1株当たり当期純利益および中間純損失ならびに潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。			
	前中間会計期間 自 平成15年7月1日 至 平成15年12月31日	当中間会計期間 自 平成16年7月1日 至 平成16年12月31日	前事業年度 自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日
(省略)			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 203株	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成16年9月28日の定時株主総会決議 855株	—

訂正後

※ 1株当たり当期純利益および中間純損失ならびに潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間会計期間 自 平成15年7月1日 至 平成15年12月31日	当中間会計期間 自 平成16年7月1日 至 平成16年12月31日	前事業年度 自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日
(省 略)			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 203株	商法第280条ノ20および280条ノ21の規定に基づくストックオプション 平成15年9月24日の定時株主総会決議 110株	—